

地域に今あるものを生かす

歴史的建築の再生・活用

歴史ある建物が次々と失われてしまう現在、再生部会では、既存建物を保存活用することが付加価値を生み出し、かつ地域のアイデンティティを高めるデザイン手法となりうると考え、多くの人に知ってもらいたいと活動して参りました。そこで、国内外の保存活用事例を集めて「建築リノベーションアーカイブ」WEBサイトを開設しました。現在、140以上の質の高い保存活用事例を公開し、知識を共有し学び合うプラットフォームとして機能しています。今回は、この重要なテーマについて高谷先生からお話を伺います。



建築リノベーションアーカイブ.com

講師：高谷時彦氏 / (株) 設計・計画高谷時彦事務所

日時 2024年5月20日(月) 19:00開演(18:30開場)

会場 JIA館1階 建築家クラブ(渋谷区神宮前2-3-18)

および ZOOM 配信のハイブリッド方式

申込み：参加ご希望の方は下記または右 QR に登録して事前入金をお願いします。開催前に ZOOM アドレスをお知らせします。登録がうまくできない方は問合先(柳沢)までご連絡下さい。

<https://jiasaiseibuka202405ievent.peatix.com>

資料代：500円

問合先：shinya@yanagisawa-archi.com (柳沢)

主催：JIA 関東甲信越支部 再生部会

助成：NPO 法人 建築家教育推進機構

C P D : 2 単位

講師略歴：

1952年 香川県生まれ
 1976年 東京大学都市工学科卒
 1976～89 楨総合計画事務所(楨文彦先生に師事)を経て
 1989年 設計・計画 高谷時彦事務所設立
 2005～20 東北公益文科大学大学院特任教授
 幕張ベイタウンコア(公共建築賞2006)、
 鶴岡まちなかキネマ(建築学会作品選奨2013)、
 藤沢周平記念館(建築学会作品選集選)、
 庄内町ギャラリー温泉町湯(建築家協会優秀建築選2016)他。
 共著『見えがくれする都市』『City with a hidden past』、
 共編著『社会を変える公益ビジネス—地方都市の再生をめざして』他。



高谷時彦氏



日和山小幡楼(山形県酒田市)
 映画「おくりびと」のロケ地となった洋館を店舗+集会施設へ転用。



鶴岡まちなかキネマ(山形県鶴岡市)
 築80年を越える木造の絹織物工場を既存トラスの小屋組を残しながら映画館に再生。